重要技術戦略研究所（ICETS）設立とAI調査分析の概要

2026年10月に設立されたICETSは、AIを活用した高度なデータ分析により新興技術の予兆を早期に把握し、国の研究開発投資や経済安全保障政策の意思決定を支援する中核シンクタンクです。

ICETSの概要とAI活用の位置づけ

国家戦略を支えるシンクタンク

2026年10月設立。
理事長に小川啓之氏、
所長に中山智弘氏が就任。



AIによる技術動向の予兆検知



投資判断

論文や研究資金データから新興技術を早期発見し投資判断へ活用。

産学官の連携分析基盤

未来工学研・東京科学大・北海道大の共同提案体をベースに始動。



ICETSの基本仕様と運用の骨組み

項目	内容・体制	根拠資料
正式名称・形態	一般社団法人 重要技術戦略研究所（ICETS）	内閣府公表文（一次情報）
人員規模	10名で始動、最終年度（令和11年度）に100名超へ	籠運および採択資料
主な分析基盤	e-CSTI等の論文・資金データと可視化ツール	統合イノベーション戦略2025等

企業のR&D・知財戦略への実務的示唆

自社技術領域の早期棚卸し



ICETSの分析が政策に影響するため自社技術との関連性を整理。

社内IPランドスケープとの突合



論文主体の政策分析に対応し自社特許データを同じ分類で分析準備。

分析手法の透明性を注視

データ範囲や検証手順など今後公表される実装仕様の確認が必要。



分析プロセス

Gemini Notebook